

医療法人 八誠会

もりそう教育だより

令和6年4月発行 (No.13)

発行/もりやま総合心療病院

看護部

TEL 052-791-2133



Welcome 新しい仲間の皆さん

教育だよりを作り始めてから4回目の春を迎えました。昨年は、病床再編でバタバタしておりましたが、今年は新しい仲間をたくさんお迎えして、どこの部署も新しい風が吹いているような気がしております。もともと当院は、長く働いていらっしゃる方がたくさんいて、総合病院のようにたくさん人が入れ替わるといことは少ないので、例年よりもたくさんの人が入れ替わることにちょっと特別感があります。人の入れ替わりが少ない職場では、昔ながらの職場の風土が作られて、安定感も出てくるだろうと思います。それはプラス面にも働きますが、時に閉塞感につながることもあるかと思えます。精神科病院で問題になっている虐待の問題も、精神科はこういうものという固定観念や自分と違うものを受け入れることへの抵抗が無関係ではないようにも思えます。慣れ親しんだものが変わっていくことへの不安や寂しさというものはあって当然と思いますが、未知のものを知り受け入れていくことで、プラスの変化も生まれるのではないかと期待しています。ご縁があってくれた新しい仲間の皆さんと、風通しの良い看護部を作っていけたらと思っています。

インターンシップって楽しいですね

昨年夏から復活したインターンシップですが、今年は3月にも2日間開催しました。その他にも半日の見学会を1回、経験のある看護師さんの面接や見学にも随時対応しております。見学会とインターンシップの違いは、午前中に病院の説明と見学をして、お昼は食堂でランチ体験、午後は病棟に滞在してもらい看護体験をしていただくのがインターンシップ、半日で説明と見学と先輩との交流会をするのが見学会です。インターンシップは病棟の都合もあってあらかじめ日程を決めて実施しますが、その日に都合が悪くても、随時都合のいい日程を調整して見学会を行っています。

連日、同じ内容をしゃべっているとどこまでお話ししたっけ？と頭がこんがらがってきますが、フレッシュな看護学生さんの初々しい笑顔にエネルギーをいただいております。また、看護体験や交流会の担当スタッフが病棟や看護のことを語ってくれるのを聞くと、そんな思いを抱いているのねと胸が熱くなることもしばしばです。3月のインターンシップは終わりましたが、夏の予定も決まりました。また、ご縁のある方々とともに時間を過ごし、看護について語り合えたらいいなと楽しみにしております。ぜひぜひ、インターンシップや見学会にご参加いただければと思います。日程は以下の通りですが、HPに案内が掲載されておりますので、詳しくはそちらをご覧ください。

夏のインターンシップの日程は、7月31日(水)、8月8日(木)、8月23日(金)の3日間です。都合がつかない場合は、見学会にも対応しておりますので、看護部長の林 (m-hayashi@8seikai.jp または [052-791-2133](tel:052-791-2133))までお気軽にご連絡ください。看護部一同お待ちしております。



桜満開 新年度がスタートします



今年度は 8 名の看護職員(うち新人 2 名)が入職してくださいました。例年桜をバックに記念撮影をしていますが、今年はお天気にも恵まれ、桜の開花が例年より遅かったため満開に近い桜と共に記念撮影することができました。いよいよ今年度がスタートしました。病棟では新入職の方を暖かく迎え入れるように様々な準備がされています。まずは安心してゆっくり業務を覚えるところから始めていただけたらと思います。看護教育担当者も、病棟をラウンドし新入職の方や病棟スタッフをサポートしていきます。



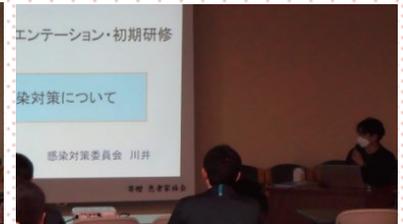
【入職者基礎教育】

基礎教育内容

- ・ 「精神科医療について」 笹田院長
- ・ 「病棟の特徴・患者様との接し方」 林看護部長
- ・ 「感染対策について」 感染対策:川井師長
- ・ 「医療安全について」 医療安全:菊池副部長



「病棟の特徴・患者様との接し方」



「感染対策について」

【新人看護師技術演習】看護研修委員会担当

日程・内容

- ・ 4/3(水)排泄介助、社会人の心構え
- ・ 4/10(水)酸素吸入、吸引
- ・ 4/20(土)採血、筋注、血糖測定、インスリン注射
- ・ 4/24(水)点滴



「採血演習」の様子

和やかな雰囲気の中で演習が行われています。何度でも練習できるシミュレーターを使用して手技の確認や声のかけ方などの練習を行います。新人看護師との演習を通して、委員会のメンバーもスキルアップにつながっています。

リソースナースのご紹介

皆様、こんにちは!

私は重症治療病棟で病棟師長として勤務しております。日々ベッドコントロールに追われ病床の確保に向け奮闘しております。認定看護師としては 2 年目になりますが、1 年目は自分自身何をしたら良いのかわからず右往左往していました。試行錯誤を繰り返す中で、患者をアセスメントしてその人にあった環境を提供するために病棟間の調整をすることが自分の役割であると認識しました。今後も自分ができることを模索して認定看護師としての役割を遂行して行きたいと思います。

看護安全委員会の委員長として活動もしています。昨年度は与薬マニュアルの作成、医療安全研修などを実施しました。昨年度、医療安全管理者の資格も取得しました。研修中に医療安全に必要な知識を学んだので、今後の自分の活動に活かして行きたいと考えています。

(F3 病棟師長 萱野公始郎 (精神科医学会認定看護師))